

## 令和5年度 学校評価(中間評価)結果について

	評価項目	評価の観点	評価方法・指標	評価	評価(・)と改善策(⇒)
確かな学力の育成	基礎・基本の徹底	漢字・計算コンテストに向けて、充分練習させたり、指導したりできたか。	◆漢字計算コンテスト(合格率) A:90%以上 B:80%以上 C:60%以上 D:60%未満	A	・コンテストの合格率は、計算で100%、漢字で90%だった。また、児童・保護者・教員のアンケートでもすべて90%以上の評価であった。
	わかる授業・楽しい授業の工夫改善	課題解決の見通しを持たせる既習の活用、ねらいを明確にし、個に対応した支援や指導をしたか。	◆保護者員アンケート ◆児童アンケート A:90%以上 B:80%以上 C:60%以上 D:60%未満	A	・児童・保護者・教員のアンケートでもすべて90%以上の評価であった。
	ICTを活用した授業の推進	1人1台端末を活用して、教科の学びを深めることができたか。	◆教職員評価 ◆児童アンケート A:90%以上 B:80%以上 C:60%以上 D:60%未満	A	・全学年で一人一台端末を活用した授業を行っている。 ・1学期は1・3年と5・6年で道徳の三校合同リモート交流授業を行うことができた。他校の児童と交流し、刺激を受けたり考えを深めたりすることができた。 ⇒今後はさらに、学びを深めるためのICT活用に取り組んでいく。
	学校図書館の充実と読書指導の推進	朝読書、10日・20日・30日のノーマディアデーに読書の声かけをし、学年おすすめの本の活用をすすめ、読書時間を確保したか。	◆教職員評価 ◆保護者アンケート A:90%以上 B:80%以上 C:60%以上 D:60%未満	B	・おすすめの本を活用し、ノーマディアデーにおいても読書を宿題とし、月1回の読み聞かせでも児童は興味を持ってお話を聞いている。しかし、児童の姿として、保護者からの評価は90%に届かず、B評価。 ⇒今後、家での読書活動の協力をお願いする。
豊かな心の育成	児童の自己肯定感を高めるような縦割り班活動や委員会活動などの充実	委員会・クラブ・なかよし遊び・行事・奉仕作業などの活動では、めあてや役割を持たせ、達成感が得られるよう支援してきたか。	◆児童・保護者アンケート A:90%以上 B:80%以上 C:60%以上 D:60%未満	A	・委員会活動や行事等では、子どもたちが主体となって活動しており、達成感が持てるようにしてきた。 児童・保護者・教員のアンケートでもすべて90%以上の評価であった。
	道徳重点目標を意識し、児童の心に響く授業づくりを目指した道徳教育の推進	道徳の重点目標を意識し、行事や活動を関連させためあてをもたせたか。児童の心に響く授業を工夫し、自分を見つめたり、考えを深めたりできるようにしたか。	◆教職員評価 ◆児童アンケート A:90%以上 B:80%以上 C:60%以上 D:60%未満	A	・道徳の授業では、子どもたちは自分の考えをたくさん出し合っていた。 今後、学校の重点目標を意識し、学校の教育活動全体で道徳教育を進められるようにしていく。
	豊かな人間関係づくりに向けた地域人材の積極的活用や他校との交流学習の充実	地域の方と児童との関わりの場を意図的に設定したり、他校児童との交流学習を計画的に実施したりすることができたか。	◆地域人材の活用 40回 ◆他校との交流学習 年10回 A:100% B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	B	・地域人材の活用は、計11回、延べ人数は22人、他校との交流学習は3回行った。6月の「あじさい祭り」では、「あじさいのうた」の制作者による合唱指導をしていただいた。6、7月には初の試みとして、リモートでの三校合同道徳授業も実施できた。 ⇒今後も、目的を明確にした講師招聘や合同学習を行う。
健やかな体の育成	「1校1プラン」の充実による体力向上、体を動かす楽しさを実感できる「スポチャレいしかわ」	体育の時間や長休みのスポチャレなどで、児童の体力と筋力をアップすることができたか。	◆体力・運動能力調査の総合評価A群+B群の児童が83%以上 A群の児童33%以上 ◆児童アンケート A:90%以上 B:80%以上 C:60%以上 D:60%未満	B	・毎週金曜日、全校スポチャレに継続して取り組んでいる。 ・1学期ランランタイムを実施できた。 ・総合評価A群+B群の児童は66.6%であった。 ・体力テストの結果は多くの項目で県平均を上回った。反復横跳びは5・6年男女ともに県平均を上回っている。長座体前屈に課題がある。 ⇒体育の準備運動で3人ストレッチに取り組み、柔軟性を高めている。
	家庭と連携した基本的な生活習慣の形成と望ましい食生活習慣	元気アップウィークの取組を通じて、正しい生活習慣を身につけさせるよう働きかけたか。(早寝早起朝ごはん・メディアのルール・歯磨き) ※早寝に課題あり	◆元気アップウィーク ◆児童・保護者アンケート A:90%以上 B:80%以上 C:60%以上 D:60%未満	B	・毎月1回、げんきアップウィークを設定し、担任とともに気になる児童に対し声掛けすることができた。 ・「早寝」は5月、6月ともに70%であった。習い事がある日の就寝時刻は遅い傾向にある。 ⇒児童委員会の主体的な活動の1つになるように進めていきたい。
	危険予知、回避能力の育成を意図した安全教育の推進	自分で自分の身を守ることができ児童の育成に向け、避難訓練や安全教育の充実を図ることができたか。	◆保健室利用回数(けが)年間50回(前期60%、後期40%) ◆児童アンケート A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満	A	・交通安全教室(歩行練習・自転車教室)コースを工夫した。 ・避難訓練(地震津波・不審者・土砂災害対応)⇒避難訓練の内容を様々な事象を想定し行う。 ・けが発生件数は12件であった。(虫刺されなどを除く) ⇒担任と連携してけがの再発防止のための個別指導を継続していく。
信頼される学校づくり	各種お便りやHPを活用しての積極的な情報発信	学校の取組や児童の活動の様子などを家庭や地域に知らせることができたか。	◆教職員評価 ◆HPの更新回数 年間95回(月平均10回程度)	A	・毎月の学校便り・保健便りの発行、月に2回程度の学級通信の発行などを通して、家庭・地域に児童の活動の様子を伝えることができた。4月からのHPの更新回数は39回で、各学年の日常の授業の様子等も発信することができた。 ⇒新聞掲載を通じた本校のPRも進めていきたい。
	職員が心身共に健康でいられるような職場環境づくり	毎月の時間外勤務時間を60時間以内とすることができたか。	◆毎月の時間外勤務時間調査 A:100% B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	A	・4～7月の超過勤務時間は、月平均35時間前後であった。6月の計画訪問前の5月は少し時間が長くなった職員もいたが、50時間以内で収まっている。仕事への見直し、段取り、組織力などを生かしながら働きやすい職場環境作りを進めていきたい。